

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権は、購入時の取得価額によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法による。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,002,900,000	300,000,000	300,000,000	1,002,900,000
小計	1,002,900,000	300,000,000	300,000,000	1,002,900,000
特定資産				
褒賞・助成金引当資産	3,000,000	0	0	3,000,000
25周年記念事業積立資産	5,000,000	5,000,000	1,830,710	8,169,290
公益事業積立資産	20,838,476	14,304,783	0	35,143,259
小計	28,838,476	19,304,783	1,830,710	46,312,549
合計	1,031,738,476	319,304,783	301,830,710	1,049,212,549

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,002,900,000	(1,002,900,000)	(0)	—
小計	1,002,900,000	(1,002,900,000)	(0)	—
特定資産				
褒賞・助成金引当資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—
25周年記念事業積立資産	8,169,290	(0)	(8,169,290)	—
公益事業積立資産	35,143,259	(35,143,259)	(0)	—
小計	46,312,549	(35,143,259)	(11,169,290)	—
合計	1,049,212,549	(1,038,043,259)	(11,169,290)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	616,581	616,577	4
合計	616,581	616,577	4

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益	備考
オーストリア労働金庫	500,000,000	508,450,000	8,450,000	100円当り101.69円
ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.40656	200,000,000	196,520,000	△ 3,480,000	100円当り98.26円
ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.42655	200,000,000	188,460,000	△ 11,540,000	100円当り94.23円
ノムラヨ-ロッパファイナンス エヌブイ No.42664	100,000,000	88,920,000	△ 11,080,000	100円当り88.92円
合計	1,000,000,000	982,350,000	△ 17,650,000	

※ 満期まで保有の場合、為替リスクは発生しない。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	16,412,941
基本財産受取配当金	#REF!
合計	#REF!